

## 平成15年度司法試験第二次試験口述試験における問題のテーマについて

口述試験は、一定の法律問題（テーマ）を素材として、法曹となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを口頭表現という形で判定する試験であり、平成15年度においては、以下のテーマを中心として行われた。

なお、試験の際の具体的なやり取りによっては、テーマが変更・追加されたものもある。

試験日\科目	憲 法	民 法	民事訴訟法	刑 法	刑事訴訟法
第1日目 10月25日(土)	立候補の自由	成年後見	訴訟能力・独立当事者参加	入試答案改ざんと文書偽造・毀棄罪	伝聞証言の証拠能力
第2日目 10月26日(日)	国政調査権	動産占有	新旧訴訟物論・弁論と証拠・占有権に対する本権の抗弁と反訴	使用窃盗、ひき逃げと遺棄罪	実況見分調書の証拠能力
第3日目 10月27日(月)	ビラ貼りの規制	賃貸借の終了	建物明渡請求訴訟の訴訟物と主張立証責任・確認の利益・訴訟承継	死者の占有、事実の錯誤	余罪取調べの限界
第4日目 10月28日(火)	選挙公報の内容規制	詐害行為取消し	債権者代位訴訟	インターネットとおいせつ犯罪	電磁的記録媒体の証拠収集
第5日目 10月29日(水)	裁判官の独立	請負と危険負担	代償請求・営業秘密に関する証拠調べ	共犯の錯誤、正当防衛	被害者の供述ないし証言確保の方策